

安全・安心な“そぞろ歩き”の実現に向けた社会実験を実施

城崎温泉での安全・安心な“そぞろ歩き”の実現に向け、(主)豊岡竹野線「桃島バイパス」完成時を見据えた社会実験を行います。

実験では「道路の歩行者空間化」「循環バスの運行」「荷捌き場の設置」など、住民・事業者・来訪者の多様なニーズに応じた道路空間の有効活用による歩行者の安全性、利便性の向上効果を検証し、将来の道路のあり方を検討するためのデータを取得します。

実験期間中は、温泉街の車両通行規制を行います。皆様のご理解とご協力をお願いします。

《問合せ》建設課 ☎29-0010

▶期間

11月13日(木)～16日(日)

▶主な実験実施内容

- ①時間帯に応じた車両通行規制
- ②郊外に臨時駐車場を開設し、温泉街を循環するバスを運行
[期間中は終日、市営駐車場(城崎温泉駅前・木屋町・鴻の湯)は閉鎖します]
- ③川を眺めて休息できるハイカウンターなどの設置
- ④路上駐車による荷卸しを削減するため、市営駐車場や民地を活用した荷さばき場を設置

▶車両通行規制

- ▷北柳通り午前10時～午後10時
- ▷湯の里通り午後5時～10時
- ▷南柳通り午後7時～10時

詳細は、市ホームページを確認してください。



市ホームページ▶

農林水産業に関する意見交換会を開催しました

市では、農林水産業に関する現状や課題を適時把握し、新たな施策立案につなげるため、たじま農業協同組合、但馬漁業協同組合、豊岡コウノトリ森林組合の幹部を交えた「農林水産業に関する意見交換会」を毎年開催しており、9月2日に本年度の第1回意見交換会を開催しました。

会議では、農業渇水対策や有害鳥獣対策の状況、米の価格やピーマンの出荷状況、津居山・竹野漁港の水揚げ状況、間伐などの森林整備の状況が報告され、活発な意見交換がなされました。

特に、農林水産業の分野で深刻な課題となっている後継者などの「人材不足」については、共通の重要課題とし、今後も議論を深めなが

ら、農業・林業・漁業への就業者が増えるような取組みを検討していく予定です。

《問合せ》農林水産課 ☎23-1127



▲門間市長も出席し、農林水産業が直面する現状や課題について活発な意見交換がなされた

本気で農業に取り組む方を応援

豊岡農業スクール2026年度研修生(第14期生)を募集します



▲親方農家とスクール生が作ったオーガニックトマト

本市では、就農に必要な技能を学ぶ「豊岡農業スクール」を開校しています。これまでに34人が卒業して市内で就農し、水稻、野菜、畜産、果樹などの分野で活躍しています。

農業者のもとで技術を学ぶほか、他の農家の圃場見学や、独立就農時の経営計画の策定について学ぶ場も用意しています。就農には、市・県・JAが一丸となってサポートします。先進的な農業者から技能を学び、市内で就農しませんか。

《申込み・問合せ》農林水産課 ☎23-1127



▶採用条件

- ▷年齢要件なし(未成年は保証人が必要)
- ▷市内在住者または転入者(転入予定を含む)
- ▷研修終了後、市内で就農する意志のある方(独立・自営就農、雇用就農または親元就農)

▶募集人数 5人(新規)

▶研修期間 1年間(2026年4月1日～27年3月31日)

※更新により2年間まで延長可

▶受講料 無料

▶申込方法 26年1月9日(金)までに申請書(市ホームページに掲載)および必要書類を提出

スクール在学中に就農準備資金が利用できます

就農予定時の年齢が50歳未満の方で、研修終了後に市内で就農する意志があり、国が設定する交付条件を満たす場合、在学中に年間最大150万円の給付を受けることができます。

受給希望者は、スクール入校後、市への申請および審査を受ける必要があります。

なお、研修中または研修終了後に、国が設定する条件を満たさない方は、資金の交付停止または返還の対象となります。

11月

とよおか生きもの歳時記 ～紅葉のしくみ～

皆さんに豊岡の自然を身近に感じてもらうため、豊岡らしい季節の言葉を紹介します。

木々が色鮮やかに染まる季節となりました

木々が色鮮やかに染まる季節となりました。秋になると目につくのが紅葉です。赤い葉や黄色い葉、紅葉途中で一枚の葉の中に赤や黄色、緑などが混ざっている葉もとてもきれいですね。

色が変わるしくみ

ところで、どうして色が変わるのか、不思議に思ったことはありませんか。

緑色の葉にはクロロフィルという緑色の色素とカロテノイドという黄色の色素があります。また、葉に光が当たることによって赤色色素のアントシアニンができることがあります。

クロロフィルは光合成に必要な色素でもあるので夏の間はたくさんあり、葉は緑色をしています。秋が深まるにつれ、気温が下がり日が短くなると、クロロフィルは分解されます。すると隠されていた黄色が出て来たり、新しく作られた赤色が目立つようになります。

綺麗な紅葉

気温が一気に下がると紅葉がきれいになると言われるのは、クロロフィルが急激に分解されると、アントシアニンが合成されるからです。



▲紅葉しかけているヤマハゼの葉

今年は残暑が長引くようです。きれいな紅葉が見られるでしょうか。

(写真・文 NPO法人コウノトリ市民研究所 村田美津子)